



永代供養墓「ハナミヅキの碑」観音像

忘れるということ

住職コラム

20

本

堂での葬儀が終
わって後片付けの
時、業者さんがお
花の水を大量に畳にこぼして
しまいました。どうやらすぐ
に拭き取ってくれなかったせ
いか、畳に水跡が残ってし
まいました。

二、三日、畳を裏返して扇
風機の風をあてたり、掃除機
で水気を吸い取ろうとしたり、
なんとかその跡を取ろうと頑
張りました。

しかしながら、こぼれた水
は今でもシミとして、そこに
あります。

本堂に入るたび、畳を見て
は仕方ないと思うも、恨めし

いと感じる日々…。

しかし、ある程度日が立つ
とすっかりその事は忘れてい
て、たまに目に入るとそうい
えばそんな事もあったかなと
思い出す位になりました。

元より私は記憶力が弱い
ですが、忘れるということは
つくづくよいものだなあと感
じます。人の名前は中々覚え
られません、怒りや妬みも
早く忘れさせてくれます。

良かった事、大切な事は死
ぬまで覚えておきたいと思
いますが、嫌な事はどんどん忘
れていこうと思う今日この頃
です。





陽光院の 令和6年 を 振り返る



光陰矢の如し。住職となり早十年。ようやくお寺の土台が作られてきて、少しづつ日々の余裕も感じています。令和六年の陽光院の行事を振り返ります。

1月 お正月・初詣

お正月は新年のお墓参りの方々をお迎え。また、御守やおみくじ、境内に竹馬・羽子板なども置いたり、コーヒー等の温かな飲み物の接待も行いました。



1月・6月 役員会開催

檀信徒役員の方々と役員会を開催。収支報告や施食会の運営等を話し合っています。

3・9月 春と秋のお彼岸

春・秋のお彼岸にはお墓参りの方が大勢みえました。墓地は沢山のお花で彩られ、故人様方が微笑んでいられる姿が目につかびます。期間中は、ホールを休憩室とし、コーヒー等のサービス、また、秋彼岸の中日には永代供養墓の合同供養を行い、多くの方のご参列を頂きました。



4月 花まつり

お釈迦様の誕生日を祝って花まつりの催しを開きました。お寺や仏教に親しんでもらおうと、木魚体験や芝生での坐禅体験、ホトケ(仏)ーキの販売などを用意して、約三〇〇名もの方々に来山頂けました。また、神奈川新聞にも大きくこの花まつりを掲載して頂きました。



6月 樹木剪定



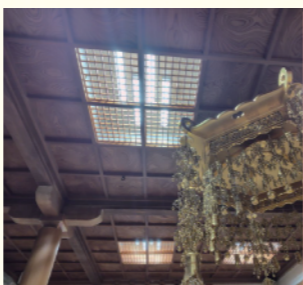
横浜市指定銘木のクスノキなど大木の剪定を行いました。気持ちよくお参りが出来るよう綺麗なお寺を心掛けています。

6月 本堂掃除の会



本堂内の仏具や畳・格子窓などをキレイにする「第6回本堂掃除の会」を行いました。お檀家の方や近隣の方、坐禅会の方など約二十名の方々に夏の暑い中、ご奉仕を頂くことが出来ました。

本堂LED工事



本堂の電球をLEDに変えました。とても明るくなり本尊様もきつとお喜びかと思えます。

通年 葬儀・法事



檀信徒の皆様にとって大切な方の葬儀や法事、また御祈禱などの仏事を行います。また、昨年より法事後のお寺控室を利用した会食を再開しておりますので、ご利用下さい。

7月 お盆・施食会



お盆の合同供養祭「施食会」を執り行いました。近年の夏の猛暑を少しでも避けるため、一時間遅らせての開催と致しました。法要前にはご老師の法話もあり、大勢のご参列を頂き、故人様やご先祖様へのご供養を施しました。また、かき氷の振る舞いや、インターネット中継も行いました。

お寺の貸し出し ヨガ・落語会



ヨガ講師主催の「お寺ヨガ」は月一回第三木曜、10時半からの1時間。どなたでもご参加可能です。ご予約はWEBからとなります。



一般社団法人落語協会様に本堂をお貸しした「三ツ沢落語会」が二度開催されました。今年も五月と十一月に開催予定です。

通年 日曜日の坐禅会



坐禅会も開催して早十年目。毎回三〇名程の参禅を頂いています。ご予約はWEBからお願致します。檀信徒の方に限り、電話からの予約も受け付けています。

通年 朝のおつとめ体験



四月より午前七時から坐禅・読経・法話がセットの「朝のおつとめ体験」をはじめました。終了後は境内でモーニングコーヒーです。

インターネット中継も

ぜひ
ご参加下さい

ぜひ
ご参加下さい

ぜひ
ご参加下さい

ぜひ
ご参加下さい

6

本堂でのお葬式



陽光院の本堂やホールにて通夜葬儀を営むことも可能です。お寺での葬儀は荘厳さと落ち着きが保たれます。また既に堂内が荘厳されているので、祭壇費用を抑えることが出来る利点もあります。

【指定葬儀社】

ハマ葬具店：0120-61-4433
お葬式の坂尻：0800-800-7676

5

跡継ぎがないお墓

もこ

一般墓地永代供養制度

陽光院にお墓をお持ちの方で、跡継ぎがいらっしゃる方向けに「もこ(慕古:古人から学び今に生かしていくこと)」という制度を設けています。ご逝去後も今あるお墓に入ることが出来、その後はお寺が管理と供養を重ねていく永代供養制度です。お気軽にお問い合わせ下さい。

2

陽光院WEBサイト



お寺のWEBサイトを7年前より開設しておりますが、御存知ない檀信徒もいらっしゃるようです。ぜひご覧下さい。YOUTUBEやfacebookもあります。

1

お釈迦様の誕生日 花まつり

令和7年花まつり

4月6日(日)
10時~16時



3年前よりお釈迦さまの誕生日を大きく広めていこうと、お寺全体を大きく使った催し「花まつり」を開催しています。主に次代を担う子供たちに仏教の心やお寺に親しみを持ってもらおうと工夫を凝らして行っています。大人も子供もぜひ皆様いらして下さい!



花まつり動画

その他お知らせ

●位牌・仏壇供養
位牌が多い、位牌の跡をつぐ方がない、仏壇が大きいなどお悩みの方はご相談下さい。位牌をまとめた後、お寺で位牌をお預かりして供養を続ける、お焚き上げ等、ご事情に合った方法をお伝えします。

●生前戒名授与式
存命中に戒名を受け、その日にそなえる生前戒名授与式を個別にお

7

月に一度の禅修行

坐禅会日程	お寺ヨガ	朝のおつとめ体験
1月19日(日)	1月16日(木)	1月26日(日)
2月9日(日)	2月20日(木)	2月16日(日)
3月30日(日)	3月13日(木)	3月9日(日)
4月20日(日)	4月17日(木)	4月13日(日)
5月11日(日)	5月15日(木)	5月18日(日)

※坐禅会に初めて参加される方、お寺ヨガは予約が必要となります。WEBサイトや電話でご予約下さい。朝のおつとめ体験は予約不要です

4

一般墓分譲中



家族でつなぐ一般的なお墓を、大小さまざま、計13区画分譲中です。ご親族やご家族におすすめ頂ければ幸いです。跡を継ぐ方がいらっしゃらなくても一般的なお墓を持つことが出来る永代供養制度「もこ」もあるので安心です。

3

永代供養墓ハナミツキの碑



主に墓の跡継ぎがいらっしゃらない方向けの合同墓、永代供養墓「ハナミツキの碑」は、墓じまい後のご遺骨の納骨先、お子様がいらっしゃらないご夫婦の生前申込など、多様なライフスタイルに合致するお墓です。お気軽にご見学下さい。詳しい話をご希望の方はご遠慮なくお声掛け下さい。

●塔婆のお焚き上げ
古くなった塔婆はお焚き上げします。本堂裏手の古塔婆置き場に置いてください(無料)

●法事などのお供物
お供え物のお下がりを子ども食堂などに寄贈する活動を継続中です

仏の教えや禅語は悟りの境涯を伝えてくれるもの。しかし、深遠な仏の道求めなくとも、その言葉を自らの生活に引き寄せることで、大切なものに気付かされたり、豊かな人生を過ごすヒントにもつながります。



連載 仏教の話 第17話

一生真似をしていたら

真似が本物になる

「二日真似をして、それで済んでしまつたら一日の真似。二日真似してあと真似をしなかつたら二日のマネ。ところが一生真似をしていたらそれは本物になる」

この言葉は平成時代にご活躍された、福井県にある曹洞宗大本山

永平寺の七十八世貫主かんしゅ（住職）宮崎奕保ぎやくほ禅師のお言葉です。

この言葉の真意は修行者は一生仏の真似をして生き、自らに仏を体現していかなければならないという意味で、修行者なら誰しもが腑に落ちる言葉です。

さて、私はこの言葉を聞くと、こんな昔話を思い出します。

あるところにスリや賽銭泥棒など小さな悪事を生業にする小悪党がいました。小悪党はある日、とある商家の本店に黄金しょうかで出来たそろばんおおみせがある事を知りました。

「俺も今までせこい悪事ばかり重ねて、人に迷惑ばかりかけてきた。

さて、番頭になれば金のそろばんの部屋にも出入りが許され、盗むならいい頃合いです。しかし、小悪党は金のそろばんを盗もうとは決して思いませんでした。なぜなら、小悪党は根気よく善人の真似を続けたことで、立派な善人になっていったからでした。

これは、人を騙すために始めた善人の真似という行為が、意に反して小悪党の心を正し、いつの間にか本物の善人になってしまったというお話です。

私たちが善人や仏の真似を続けて、本物の善人や仏になっていきましよう。それが人として生まれてきた印の印印です。

く起きて道を掃除し、いつでも笑顔で人と接し、優しい言葉をかけ、困っている人がいれば助けました。それもこれも目的はただひとつ、金のそろばんを盗むためでありました。

「ちくしょー。眠いなあ。まだ朝の4時半じゃねえか。掃除面倒くせえなあ。しかしこれも信用させるため」「こいつほんと嫌なやつだなあ。なんでこんなやろうに笑顔で優しくしなくちゃならねえんだ。しかし、これも金のそろばんを盗むため。仕方ない」

そうやって、小悪党は何年も根気よく善人のふりを続けたお陰で、すっかり主人からの信用を得て、店の番頭に上り詰めたのです。

金で出来たそろばんとやらがあれは一生食うに困らない。よし、金のそろばんを盗んで悪事からきっぱり足を洗おうじゃねえか！」

しかし、金のそろばんのある部屋は厳重に管理され、部屋に入れるのは信用されている人だけのこと。

「さて、どうやって金のそろばんを盗もうか。そうだ！店で一生懸命働いて、俺を信用してもらい、金のそろばんの部屋に入れるようになったから盗んでやろう！」

それから、小悪党は使用人として店に潜り込み、主人を信用させるためにとことん善人の真似をして働き始めました。

来る日も来る日も誰よりも朝早

* 陽光院の御開山は永平寺三十七世貫主石牛天梁禅師